

## 平成23年度 (社)栃木県建設業協会栃木県中央部・北部地域支部と 宇都宮国道事務所との意見交換会 〈議事要旨〉

平成24年3月9日(金)、栃木県建設産業会館の会議室において、県中央部・北部地域の(社)宇都宮建設業協会、(社)栃木県建設業協会塩谷支部、那須支部(以下、「協会支部」と)、宇都宮国道事務所との意見交換会を開催しました。

協会支部からは、各支部長をはじめとして9名が、また、宇都宮国道事務所からは、副所長をはじめとして7名が出席しました。(出席者名簿は別紙参照)

意見交換に先立ち、協会側、事務所側から以下の挨拶がありました。

### 【 挨拶 】

#### ○栃木県建設業協会塩谷支部 渡邊支部長の挨拶

- ・ 昨年3月11日に発生した東日本大震災から間もなく1年になろうとしており、復旧、復興事業が進む中、「コンクリートから人へ」の政策が少しずつ変化し、業界の先行きに明るい兆しが見えてきているが、未だに避難生活を余儀なくされている地区もある。
- ・ 開かれた建設業となるためにも、工事に関する諸問題や東日本大震災における対応、教訓、反省点などについて意見を交換させて頂きたい。

#### ○宇都宮国道事務所 廣瀬副所長の挨拶

- ・ 昨年8月に行った、協会本部との意見交換の際、「大震災における広域支援体制の構築」や「地域維持型の契約方式の導入」など、主に制度面について意見交換をさせて頂いた。
- ・ 昨今の建設業界を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあるが、安全、安心で暮らしやすい環境を築くという原点は変わっていない。
- ・ 東日本大震災の際は、地域の建設業界の活躍はめざましいものがあった。
- ・ 本日は、より身近に現場での諸課題について受発注者が問題意識を共有し、改善すべきことは改善していきたいので率直な意見交換をお願いしたい。



(社)栃木県建設業協会 塩谷支部  
渡邊支部長の挨拶



国土交通省 宇都宮国道事務所  
廣瀬副所長の挨拶

## 【 意見交換 】

協会支部との意見交換の内容は、以下のとおりです。

### 1. 東日本大震災における対応等について

#### ○支部からの主な意見

- ・ 那須支部からは、震災時に避難所への物資や発電機の支援を行ったこと、一方で、個々の自治体との情報伝達などが煩雑であったことから、近隣市町等と広域の防災協定を締結したこと、また、大規模災害時には1企業だけでは対応できず、支部38社が一丸となった対応が必要であることが報告されました。
- ・ 他の支部からは、災害時の通信手段の確保、防災協定の締結、マニュアルの策定、連絡網の検討を進めていることなど、各支部とも教訓を活かした取り組み状況の報告がありました。
- ・ また、東北地方の復興事業に関連して、東北地方の賃金が上がっているために労働者が東北地方に流れ、特に専門職種は呼び戻せなくなるのではないかと、工期に影響しないか心配している。との意見がありました。
- ・ さらに、地方の建設業が安全、安心を守るために必要であるなら、地方の建設業が成り立つ制度設計とすべきであり、現状では協同組合として受注して生き残る道しかない。

○これに対して事務所からは、

- ・災害の際には地域の建設会社の力が必要不可欠なことは大震災でも明らかになった。
- ・他方で労働者、特に専門職種や技術者の不足、その要因の一つである労務単価の乖離については、喫緊の課題であると認識しており、ご意見については上部機関に伝えていきたい。

旨の回答をしています。

## 2. 工事の監督等について

○支部からの主な意見

- ・発注後の設計照査に多くの時間を要している。また、受注後の施工内容の変更が多いことから改善を望む。
- ・三者会議は全ての工事で実施してほしい。
- ・市街地や地方部で経費率の補正が決められているが、地方部でも市街地より交通量が多い場合もあり、実情を反映していないのではないかと思う。
- ・復興JVの概要等を知りたい。

○これに対して事務所からは、以下のように応えています。

- ・当事務所でも発注段階からの技術力チェックや工事発注前のチェックシートを用いた設計照査を実施しているところだが、更なる設計成果の品質向上に努めていきたい。
- ・三者会議について、構造物を主体とする工事や、施工上の情報共有や意見交換が必要と思われる工事等を対象としているが、これ以外にも三者会議を開催する必要があるれば監督職員を通じて協議頂きたい。
- ・整備局では、標準積算と合わないような工事については、「日当たり作業量の補正」、「見積もりの提出を求める方式」による積算方法を試行しているところだが、経費率の補正が実情と合わないというご意見については、上部機関に伝えていく。

### 3. その他

#### ○支部からの意見

- ・現状の入札制度は、実績を重視していることから、地方の建設会社が新規に受注することが困難になっている。
- ・地方の建設会社が地域に貢献するため、協同組合による受注方式について、国での導入を要望する。

#### ○これに対して、事務所側からは、

- ・制度に関連する要望は、本日回答した内容も含めて、上部機関に意見を伝えていきたい。
- ・また、昨年12月に「地域維持型建設共同事業体の取り扱いについて」という通知が本省から発出され、現在、地域JV導入促進に向けた検討が進められていると聞いており、事務所としては、内容が明らかになり次第、対応を検討したい。

旨の回答をしました。

最後に、今後も意見交換の場を設けていくことを双方確認しました。

# 平成23年度 (社)栃木県建設業協会栃木県中央部・北部地域支部と 宇都宮国道事務所との意見交換会 出席者名簿

日 時:平成24年3月9日(金) 14:00～16:00

場 所:栃木県建設産業会館 会議室

所 属		役 職	氏 名	備 考
(社)宇都宮建設業協会		(株)菊地組 代表取締役	菊池 三紀男	副会長
		(株)増淵組 土木開発部 統括部長	出口 功	
		渡辺建設(株) 土木部長	鈴木 渉	
(社)栃木県建設業協会	塩谷支部	(株)渡辺工務店 代表取締役	渡邊 武男	支部長
		東昭建設(株) 土木本部長	平野 清次	
	那須支部	(株)谷黒組 代表取締役	谷黒 克守	支部長
		石川建設(株) 代表取締役	石川 裕之	副支部長
		(株)大岩建設 代表取締役	岩見 武	総務企画委員長
		(株)生駒組 代表取締役	生駒 憲一	広報委員長
	宇都宮国道事務所		(技) 副所長	廣瀬 一志
工事品質管理官			鹿島 秀昭	
工務課長			原 清次	
管理第二課長			高橋 進	
計画課長			大里 弘人	
品質確保課長			鎌形 吉治	
計画課 企画係長			林 将広	

(敬称略)